



PARK PAINTING

RAKUSAICIRCUS
公園ペイント

LOKUSAI CIRCUS

ペイントで街を彩る 「洛西サーカス」

洛西サーカスは、洛西ニュータウンにある公園を、自治体、福祉事業者、地域住民、学生、子どもたちが一緒になって、楽しみながら遊具の色を塗り変えるペイントプロジェクトです。

このカタログは、2025 年に行った洛西サーカス 公園ペイントプロジェクトの記録をまとめたものです。

INDEX



2025.12.9
東新林市営住宅
児童公園

#06



2025.12.9
東新林市営住宅
児童公園

#07



STEP 01

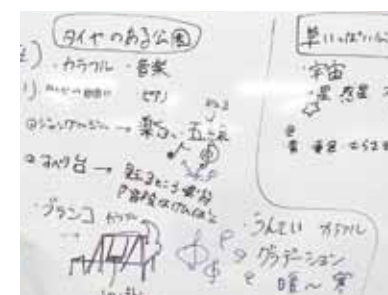
公園ペイントのスタートは、夏の蒸し暑さが始まる 6 月。洛西高校の生徒が公園に集まり、公園の現状を観察しながらフィールドワーク。どんな公園になったら楽しいか？それぞれのイメージを湧き立たせました。



フィールドワークの後、住民のみなさんとのコミュニケーションワーク。
3 チームに分かれて、どんな公園にしたいかを話しあい、イラストを描いたり、意見をまとめ発表したりしました。

STEP 02

9 月、住民のみなさんとの意見をもとにペイントテーマと色や形を考えるデザインワーク。洛西高校の教室に集まり、ペイントのテーマを決めていきました。タイヤの模型を紙粘土で作ったり、遊具へのスタンプの制作など、実際のペイント方法とイメージを固めていきました。



STEP 03

ペイントの本番イベントまでに、就労継続支援 B 型 エルデのメンバーによる遊具の塗装への下準備が行われました。すべての遊具のサビを磨き落とし、下塗りを 2 回。丁寧に塗り上げられ、真っ白なキャンパスのような遊具が現れました。





空気がキーンと冷え込んだ 12 月の朝。参加者が公園に集まり、公園ペイントが始まりました。30 個のタイヤが連なる公園のペイントテーマは「音楽」。パステルカラーのペンキを手し、刷毛をタクトのように動かして、みんなで色の波を奏でていくように塗り上げていきました。さあ、どんな公園に生まれ変わるのでしょうか。









「音楽」がテーマの公園ペイント。タイヤの遊具はカラフルなピアノの鍵盤に。ジャングルジムと滑り台は、リズムよく塗り分けられ、音符のスタンプが踊りました。ブランコの座面は、ピアノカの鍵盤。五線譜が引かれたベンチには、みんながよく知っている歌の楽譜が描かれました。

寒空のもと、当日の参加者は50人以上。洛西高校の先生方が作った熱々の焼き芋を手にしなが、仕上げていきました。

パステルカラーに彩られた公園からは、おもちゃのピアノを弾いているような、かわいらしい音楽が聞こえてきそうです。



東新林市営住宅のもう一つの公園のペイントテーマは「宇宙」。紺碧の宇宙カラーに塗り替えられた遊具をキャンパスに、ロケット、星空、宇宙人など参加者それぞれがイメージを膨らませ、筆を走らせました。ブランコや滑り台には、カラフルなペンキを刷毛から飛び散らせ、まるで星がきらめく銀河のようにダイナミックなペイントの公園が現れました。





京都府立洛西高等学校 洛再 Links 同好会顧問 福田 里江

まずは今回の公園ペンキプロジェクトを運営して下さった皆さま、関係者の皆さま、本当にありがとうございました。

今回のプロジェクトの主体となった本校イラストレーション部は、普段は各々が自由にイラストや絵を描いて活動しています。どちらかというと個人プレーが多く、共同で作品を作る機会はなかなかありません。プロジェクトに向けて彼女たちを夏から見守ってきました。個性豊かな彼女たちのプロジェクトがどんな着地点を迎えるのか、内心ドキドキしていましたが、蓋を開けてみれば、ペイントされた公園は思わず立ち止まってしまうほどの仕上がりで、改めて彼女たちの力に驚かされました。

ペンキ日和となった本番当日は、洛再 Links 同好会のメンバーも加わり、たくさん的大人や地域の方々が来てくださいました。

年齢も立場も違う人たちが同じ場所で同じ景色を見ながら手を動かし、焼き芋も食べた、そんな時間は、とても豊かなひとときでした。あたたかく見守ってくださったすべての方々に、改めて感謝申し上げます。

就労継続支援 B 型 エルデ 平野 成隆

公園ペイントでは塗装に慣れない皆さんのサポートをさせていただきました。

普段、何気なく遊んでいる遊具たちが新しく生まれ変わり全く違う姿になっていくのは見ていて楽しかったですし、完成後はこういう活動に参加できて良かったと思えました。

また、なにより高校生や地域の子供達を楽しそうにペイントしている姿はそれだけでやりがいのあるものでした。

今後の公園ペイントの際にも皆さんの塗装のサポートなどお手伝いさせていただきますのでよろしくお願いします。

京都市都市計画局住宅室住宅政策課 小谷 啓太

2025 年 12 月、東新林市営住宅での遊具塗装を終えました。

当日は絶好の塗装日和に恵まれ、パステルカラーに塗り替えられた遊具は、色鮮やかに生まれ変わっています。

本取組の特徴は、高校生が企画運営し「まちをフィールドにした地域づくり」を実践した点です。生徒の皆さんは夏頃から地域に飛び出し、フィールドワークやワークショップを通じてデザインを練り上げてきました。そして、当日の遊びの企画や焼き芋なども加わり、多世代交流の場を創出した姿は、地域再生の大きな希望であると感じます。

また、本プロジェクトは住民の方をはじめ、地域のアーティストの方、そして福祉事業所の皆様が「舞台」を整えてくださいました。地域での周知啓発や集会所の利用、草刈り、そして塗装の地道な下地処理や当日のサポートをしていただいた方々など、色んな方のご協力があってこそその取組です。

こうした流れを振り返ってみると、「遊具を塗る」ということから、豊かなコミュニティを育む「まちづくりを目的としないまちづくり」への繋がりを感じます。

様々な立場が連携しながら進めることは持続可能なまちづくりにおいて大切であり、この温かな連鎖を次世代へと繋ぐ大きな一歩となればと願っております。



主催 京都市都市計画局住宅室住宅政策課
企画 株式会社 hinode（就労継続支援 B 型 エルデ）
協力 東新林市営住宅自治会 京都府立洛西高等学校 洛再 Links 同好会
澤村産業(株) 日本ペイント(株)

ペイントディレクション・冊子制作 吉田マリモ制作室
メイン写真撮影 maktub 今西 徹
発刊 株式会社 hinode

（発刊日 2026 年 3 月 31 日）